2010-2011 年度今治ロータリークラブ週報 No.31

第 31 回 例 会 報 告（2月24日）

【 出　席　報　告 】

・会員数　５４名　・出席数　２９名　・欠席数　２５名
・当日出席率　５６．８１％　・前々回修正出席率　１００％
＜欠席会員＞青野(淳)、藤田、原、檜垣(巧)、飯、金森、川上、桑森、久米、松木、村上(裕)、西本、越智(健)、越智(務)、竹田、瀧幸、藤堂、矢野、吉武
〔免除会員〕青野、原田、松本、宮本、村上、野間
<2/10 欠席補填>(2/8 今治南)檜垣(巧)　(2/14 今治北)藤田、原、檜垣(賢)、栗西、桑森、越智(務)、重松、竹田、田中、藤堂

◇ **幹事報告**・3月 13 日(日)に今治 3RC 合同水源の森造成事業を行います。今治市玉川町龍岡上市有林内にケヤキの植栽を致します。集合は８時 30 分会議所前、11 時 30 分解散の予定です。ご家族の皆様も参加可能です。雨天の場合は中止。会長より当日朝出席予定の皆様にご連絡します。

ミラノでの例会について　平尾浩一郎会員卓話

今治タオル世界進出の一環で、ファッションの最先端の国ミラノに６泊８日で行ってまいりました。訪問いたしました例会は、2640 地区ミラノセッティーモロータリークラブです。宿泊しているホテルから歩いて５分という近い距離に例会場がありました。例会場は、建物がコの字型のビルで大変由緒ある建物だそうです。例会は 20 時から始まり、すべての会員に「良くいらっしゃいました」と、歓迎して頂きました。点鐘が鳴り、ロータリーソングの変わりに黙想をいたしました。バナーをいただき大歓迎の中、例会場を後にさせていただきました。ミラノのほとんどの例会が夜開催されており、ゆっくりと夜を楽しむミラノの特徴かなと感じました。

ロータリー創立記念例会　尾越優会長卓話

ロータリー創立記念日に際し、お話させていただきます。1905 年２月 23 日、米国イリノイ州シカゴにおいて青年弁護士ポール・ハリスがロータリーを創始しました。その日ポールは、シルベスター・シール（石炭商）、ガスターバス・ローア（鉱山技師）、ハイラム・E・ショーレー（洋服仕立て業）の３人と、ノースディアボン街 127 のユニティ・ビル内のローアの事務所で最初の会合を開きました。「ロータリー」という名前は、会員の仕事場を持ちまわりで会合を開いていた初期の慣習に由来しています。ロータリアンたちは、初のクラブを記念して当初の例会場だったシカゴのユニティ・ビルの 711 号室を 1905 年当時のまま保存しました。▼1932 年、ロータリアンのハーバード J、テイラーが「四つのテスト」を作り、その 11 年後、ロータリーはこれを倫理規範として採用しました。第二次世界大戦中は、多くのクラブが解散を余儀なくされましたが、ほかのクラブは戦争被害者の救援活動に当たりました。世界中のロータリーの組織を象徴するため考案された歯車は、1905 年ロータリー誕生の年に生まれています。ロータリーマークは、その後、専門家からなる委員会により、技術的に正確に動く歯車が検討され、1920 年正式に採用公布となり、これが今日親しんでいるロータリーマークです。本日は、創立記念日にあたり、ロータリー誕生時の概要をお話させていただきました。

次 回 例 会（3月3日）

【　ＩＭ報告　】

＜配偶者誕生祝＞　瀧幸　勝也氏（3/5）　尾越　優氏（3/7）　光藤　廣司氏（3/8）
＜結婚記念日祝＞　近藤　正人氏（3/4）　飯　忠悟氏（3/5）
＜入会記念日祝＞　近藤　正人氏（3/9）

〔　国際ホテル　〕